

テストの流れ

授業やガイダンスでの実施

VRTがよく実施されるのは、クラス単位での集団進路指導の場面です。

授業時間2コマ分を基本とします。1日に2コマとって1コマずつ別の日に分けても構いません。実施の流れの例を示します。採点・換算・結果の整理はコンピュータ判定も利用できます（B）。



さらに

個別指導へ

検査の結果について感想を書かせてもよいでしょう。迷ったり誤解している生徒には、個人的に説明し直します。さらに希望者には個人面談等の機会を設け、個別指導します。全員が行う進路面談の際に資料として活用することもできます。

グループワーク

- ・希望進学先の高校の学科やコースが、どの職業領域（RIASEC）、志向性（DTP）と関係するののかについてグループで話し合ってみる。
- ・A検査で「やりたい」と回答した項目の問題用紙の記述がどんな職業を説明しているか、その職業についてどのようなことを知っているか、グループで意見を出し合う。



VRT 職業レディネス・テスト

「RIASEC」のタイプ分類はわかりやすくシンプルです。

自分のことを知りたいという気持ちは誰でも持っているので、生徒は「私は何タイプかな?」と喜んで受けます。

パーソナリティ・タイプは、学習テストや普段の学校生活からは見えない部分もあり、VRTでわかることがあります。部活動などでリーダー的に活躍している生徒が、興味も自信も低く六角形のグラフ全体が小さいというケースもあります。担任が個別面談する際の参考材料として有効活用できます。

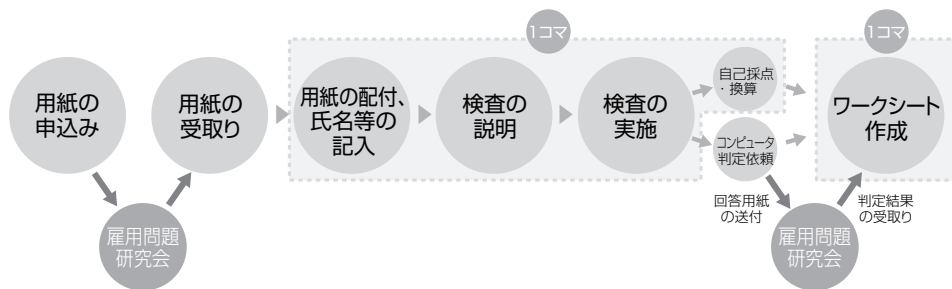
職場体験の前の2年時と、進路面談の前の3年時と2回実施している中学校もあります。結果の変化にときに生徒の成長が表れます。

ワークシートも使いやすく、そのとおりにやっていけばプロフィールが視覚化され、理解が深まります。自分でワークをしながら想像し、考えていくことができるようになっています。

就職希望者のみを対象としたものではなく、進学、さらにその先の将来、自分のキャリアを考えるためのツールです。

コロナ禍で職場体験、就業体験の中止や大幅な縮小をせざるを得なくなったとしても、キャリア教育のプログラムの一環としてVRTを実施すれば、少しでも自己理解・職業理解の機会とすることができます。

●ご利用の流れ



●料金（税込）

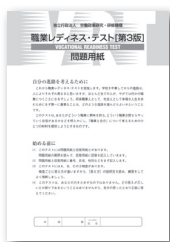
コンピュータ判定とも 1名分 ■640円

- 問題用紙
- 回答用紙(中学生用／高校生以上用) ……300円
- 結果の見方・生かし方
- コンピュータ判定料 ……340円

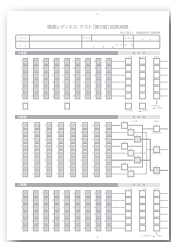
●手引 ……1,430円

●問題用紙・回答用紙・ワークシート

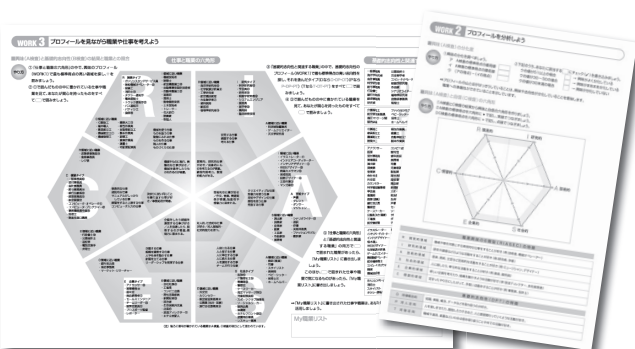
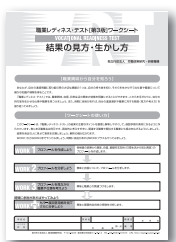
●問題用紙



●回答用紙



●結果の見方・生かし方



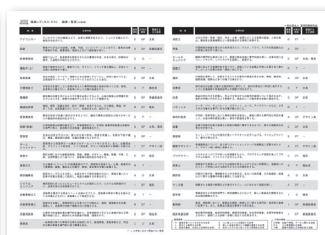
●コンピュータ判定 結果資料 中学校の場合

生 使 用 資 料

●パーソナルレポート

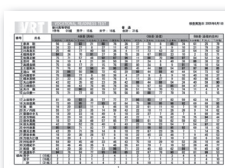


●職業一覧表



指 導 者 用 資 料

●クラス別結果一覧表



●学年集計表

